

平成26年度熊本県学力調査「ゆうチャレンジ」 小学校 第3学年 算数 出題のねらい等

連番	大問	中問	小問	領 域	学年	学習指導要領の内容等	出題のねらい	観 点				問題類別	
								算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	知識	活用
①	1	(1)		数と計算	3年	A(2)イ 加法、減法の計算の確実な習得	3位数－1位数の繰り下がりのある減法の計算ができること。			○		○	
②		(2)		数と計算	3年	A(4)ウ 除法の計算	乗法九九を1回用いて商を求める余りのある除法の計算ができること。			○		○	
③		(3)		数と計算	3年	A(3)イ 乗法の計算を用いること	3位数に1位数をかける乗法の計算ができること。			○		○	
④		(4)		数と計算	3年	A(1)ウ 数の相対的な大きさ	数の相対的な見方を活用して、計算ができること。			○		○	
⑤	2	(1)		数と計算	2年	A(1)イ 十進位取り記数法	十進位取り記数法により数の表し方及び数の大小について考えることができること。		○				○
⑥		(2)		量と測定	2年	B(2)ア 体積の単位	デシリットル、リットルについて理解していること。				○	○	
⑦	3	(1)		量と測定	3年	B(2) 目的に応じての単位や計器の選択	巻き尺を用いて測定した数値を読むことを理解していること。				○	○	
⑧		(2)		量と測定	3年	B(2) 目的に応じての単位や計器の選択	巻き尺を用いて測定する際に、0の位置を合わせて測定することを理解していること。				○	○	
⑨		(3)		量と測定	3年	B(2) 目的に応じての単位や計器の選択	目的に応じて、計器を適切に選ぶことができること。			○		○	
⑩	4	(1)		数量関係	3年	D(2)ア 式と図の関連付け	具体的な場面に対応させながら、図に表された数量の関係を考えることができること。		○				○
⑪		(2)		数と計算	3年	A(4)ウ 除法の計算	除数と商がともに1位数の場合の除法の計算ができること。			○		○	
⑫	5	(1)		数量関係	3年	D(2)ア 式と図の関連付け	式が表している場面の意味を図と関係付けて考えることができること。		○				○
⑬		(2)		数量関係	3年	D(2)ア 式と図の関連付け	具体的な場面で乗法を用いて、式と図を関係付けて考えることができること。		○				○
⑭	6	(1)		図 形	3年	C(1)ウ 円、球	ボールがびったり入る箱の大きさを、ボールの半径から考えることができること。		○				○
⑮		(2)		図 形	3年	C(1)ウ 円、球	コンパスの操作を通して、円の中心と半径について理解していること。				○	○	
⑯		(3)		図 形	3年	C(1)ウ 円、球	コンパスの操作を通して、模様を描こうとしていること。	○					○
⑰	7	(1)		量と測定	3年	B(3)イ 時刻や時間を求めること	日常生活の中で必要となる時刻を求めることができること。			○		○	
⑱		(2)		量と測定	3年	B(3)イ 時刻や時間を求めること	日常生活の中で必要となる時刻や時間を求めようとしていること。	○					○
⑲	8	(1)		数量関係	2年	D(3) 簡単な表やグラフ	身の回りにある数量を分類整理し、簡単なグラフに表すことができること。			○		○	
⑳		(2)		数量関係	2年	D(3) 簡単な表やグラフ	簡単なグラフから、その事柄についての特徴を読み取ることができること。			○		○	

※網掛けの問題は、平成25年度調査において課題が見られた内容の改善状況をみる問題として出題しています。